

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
1 生きがいをもっていきいきと暮らせるまち				
	(1) 生活習慣病の予防			
		①生活習慣病の予防、啓発（高齢期以前からの啓発） ・生活習慣病の予防の周知・啓発 ・食生活改善推進員の養成と活動支援 ・にっしん体操を広める等健康づくりの推進 ②健診（検診）、保健指導の充実 ・特定健康診査等の健診（検診）の実施、未受診者への受診勧奨など ・健診（検診）結果に基づく適切な保健指導 ③市民とともに取り組む予防活動 ・仲間づくりや場づくりによる、にっしん体操などの運動の継続支援 ・その他の自主的な活動の支援	①生活習慣病の予防、啓発（高齢期以前からの啓発） ・ヘルピー健康だよりの作成・配布 ・健康講演会の開催 ・幼稚園にっしん体操出前講習会の実施：3園 ・にっしん体操講習会の実施：1回実施 ・食生活改善推進員の活動支援（研修会6回実施） ・野菜をとろうキャンペーンの実施 ・健診案内等に伴う啓発 ②健診（検診）、保健指導の充実 ・保健指導対象者等への詳細な情報提供 ・保健指導未利用者への利用勧奨訪問の実施 ・重症化予防事業の実施 ・30代さわやか健診・結果説明会の実施 ・がん検診プロジェクトの実施 ・第一生命と健康づくりに関する協定を締結 ③市民とともに取り組む予防活動 ・にっしん体操スポットの立ち上げ・継続支援 ・食生活改善推進員の活動支援（研修会6回実施） ・食生活改善推進員養成講座を開催（全8回） ・運動普及推進員の活動支援	①生活習慣病の予防、啓発（高齢期以前からの啓発） ・ヘルピー健康だよりの作成・配布 ・健康講演会の開催 ・保育園にっしん体操出前講習会の実施：13園 ・にっしん体操講習会の実施：2回実施 ・食生活改善推進員の活動支援（研修会6回実施） ・野菜をとろうキャンペーンの実施 ・健診案内等に伴う啓発 ②健診（検診）、保健指導の充実 ・保健指導対象者等への詳細な情報提供 ・30代さわやか健診・結果説明会の実施 ・がん検診プロジェクトの実施 ・協会けんぽと健康づくりに関する協定を締結 ③市民とともに取り組む予防活動 ・にっしん体操スポットの立ち上げ・継続支援 ・食生活改善推進員の活動支援（研修会6回実施） ・運動普及推進員の活動支援

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
1 生きがいをもっていきいきと暮らせるまち				
(2) 健康づくりの推進				
		①健康づくり、介護予防の普及 ・「足腰お達者クラブ」「健口・健食元気クラブ」「回想いきいきクラブ」など二次予防事業として実施してきた介護予防事業について、新しい総合事業を活用し、より効果的・効率的な実施を検討 ・おたっしやハウス、コミュニティサロン、ぷらっとホームなど、多様な主体による予防活動の実施 ・にっしん体操スポットの設置 ・にっしん体操普及推進員などの活用による、にっしん体操の普及 ②専門職を活用した健康づくり ・有効なりハビリテーションによる機能改善 ・地域ケア会議や住民運営の場へ関与	①健康づくり、介護予防の普及 ・二次予防事業（～平成28年9月） 健口・健食元気クラブ： 1コース・計7回・3ヶ月教室・14人参加 ・介護予防・生活支援サービス事業（平成28年10月～） 通所型サービスC（短期集中予防サービス） 足腰お達者クラブ： 3コース・各12回・3ヶ月教室（最長2コース） 教室①-1（平成28年10月～12月）：新規20人参加 ①-2（平成29年1月～3月）：継続18人参加 教室②-1（平成29年1月～3月）：新規19人参加 健口・健食元気クラブ：1コース・計10回・6ヶ月教室 教室①（平成28年7月～9月）：9人参加 ・おたっしやハウス：6箇所、232回、延べ10,921人参加 コミュニティサロン：6箇所、226回、延べ4,848人参加 ぷらっとホーム：6箇所、1,131回、延べ16,922人参加 コミュニティサロン、地域サロン、老人クラブの場にて 保健師等による健康教育・相談・介護予防の実施 ・にっしん体操スポット：16か所 ・にっしん健康マイレージ：まいかカード交付者511人 ・ヘルピーストレッチの作成 （愛知東邦大学と大学連携事業にて作成） ・高齢者予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌）の実施 ★短期集中予防サービス及び一般介護予防事業の充実検討 ★介護予防ケアプラン・ケアマネジメントの充実検討 ②専門職を活用した健康づくり ・ふれあいいいききサロン等への専門職派遣 地域サロンへ保健師、理学療法士等の専門職を派遣し、 健康や介護予防に関する講座を開催：13箇所 ・ゆうゆう体操教室従事者研修 教室改編に向けて、教室メニューの監修及び教室従事者（介護 予防リーダー等）を対象とした研修会を実施：20人参加 ★短期集中予防サービス及び一般介護予防事業へのリハ職活用検討	①健康づくり、介護予防の普及 ・足腰お達者クラブ：4コース・各12回、延べ650人参加 健口・健食元気クラブ：3コース・各7回、延べ211人参加 回想いきいきクラブ：2コース・各8回、延べ125人参加 ・おたっしやハウス：6箇所、226回、延べ9,083人参加 コミュニティサロン：6箇所、222回、延べ4,899人参加 ぷらっとホーム：6箇所、744回、延べ14,703人参加 コミュニティサロン、地域サロン、老人クラブの場にて 保健師等による健康教育・相談・介護予防の実施 ・にっしん体操スポット：11か所 ・高齢者予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌）の実施 ・こころの健康づくり・相談員による相談の実施 ★平成28年10月から新しい総合事業へ移行。 要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・生活支援 サービス事業と高齢者全員を対象とする一般介護予防事業を実施 ②専門職を活用した健康づくり ・ふれあい・いきいきサロンや地域サロンへ保健師、理学療法士 等専門職を派遣し、健康や介護予防に関する講座を開催： 13箇所 ★「つどいの場」への指導員派遣を検討

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
1 生きがいをもっていきいきと暮らせるまち				
	(3) 多様な生きがいづくりの推進			
		①高齢者の活動機会の提供 ・「ぷらっとホーム」「ほっとカフェ」「ふれあい・いきいきサロン」等を活用した自主的な活動の支援 ・シルバースクール等生涯学習、文化活動など気軽に参加しやすい場の充実、情報の提供 ②高齢者の居場所づくりの推進 ・「つどいの場」を地域に広げ、多様な運営主体による活動を支援	①高齢者の活動機会の提供 ・ぷらっとホーム：6箇所、ほっとカフェ：18箇所、ふれあい・いきいきサロン：14箇所 ・シルバースクール：3箇所、30回、延べ692人参加 ・生涯学習講座の募集チラシを「ほっとカフェ」などの「つどいの場」に配布し、情報提供・参加者の募集を行った。 ②高齢者の居場所づくりの推進 ・地域の市民が気軽に通えて、高齢者の健康づくりや交流場所となる「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付した。 11団体、522,600円 ★「つどいの場」の拡充に向けた支援の継続	①高齢者の活動機会の提供 ・ぷらっとホーム：6箇所、ほっとカフェ：15箇所、ふれあい・いきいきサロン：14箇所 ・シルバースクール：3箇所、30回、延べ434人参加 ・生涯学習講座の募集チラシを「ほっとカフェ」などの「つどいの場」に配布し、情報提供・参加者の募集を行った。 ②高齢者の居場所づくりの推進 ・地域の市民が気軽に通えて、高齢者の健康づくりや交流場所となる「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付した。 11団体、818,000円 ★「つどいの場」の拡充に向けた支援の継続
	(4) 社会参加の支援			
		①担い手としての社会参加推進 ・ニーズのマッチング ②就労、社会参加の場 ・シルバー人材センターの支援 ・日進市介護支援ボランティア事業（にっしんおたっしゃボランティア）の充実 ・地域などでの主体的な取り組みの支援	①担い手としての社会参加推進 ・元気な高齢者が地域の社会的な活動に積極的に参加できるよう、活動のコーディネートなどニーズのマッチングを図った。 ②就労、社会参加の場 ・高齢者の生きがいと健康のため、就業機会の提供を行った。 会員数：512人、就業実人員：468人、就業延人員37,307人日 ・おたっしゃボランティア： 登録者：96人、受入施設：26施設 ・つどいの場補助金 地域の市民が気軽に通えて、高齢者の健康づくりや交流場所となる「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付：15団体、522,600円 ★「おたっしゃボランティア」の拡充に向けた検討 ★「つどいの場」の拡充に向けた支援の継続	①担い手としての社会参加推進 ・元気な高齢者が地域の社会的な活動に積極的に参加できるよう、活動のコーディネートなどニーズのマッチングを図った。 ②就労、社会参加の場 ・高齢者の生きがいと健康のため、就業機会の提供を行った。 会員数：519人、就業実人員：485人、就業延人員36,802人日 ・おたっしゃボランティア： 登録者：86人、受入施設：24施設 ・「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付した。

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
2 認知症の方を支える体制整備				
(1) 相談・支援体制の充実				
		①総合相談窓口の充実 ・「ものわすれ相談」の周知 ・地域包括支援センターを核とした、相談ネットワークの構築 ・地域と繋がる相談支援の推進 ②認知症ケアパスの作成と活用 ・状況に応じたサービスの流れを理解するための、認知症ケアパスの作成 ・関係者の連携体制の強化 ③認知症の理解と知識の普及 ・認知症サポーター養成研修や講演会による周知・啓発 ・学校教育の場での周知 ④認知症の方とその家族の支援等 ・「認知症家族会」「認知症カフェ」の開催による、支援体制の整備 ・認知症やさしい手ネットにっしんの推進 ・介護者のつどい、介護者リフレッシュ事業などによる、介護をしている方への支援	①総合相談窓口の充実 ・個別地域ケア会議の開催：12回 ・モデル地区（2地区）における相談活動 ★「ものわすれ相談」の周知及び脳の健康チェックの活用を検討 ②認知症ケアパスの作成と活用 ★内容充実と活用を検討 - 状態に応じた具体的な支援・相談機関等の整理・掲載 ③認知症の理解と知識の普及 ・認知症サポーター養成講座：15回、延べ458人参加（うち学校開催：中学校1回49人、小学校1回121人） ・介護予防講演会（認知症）：1回開催、137人参加 ・地域出前講座：2地区開催、延べ98人参加 ④認知症の方とその家族の支援等 ・認知症家族交流会：12回開催、延べ111人参加（うち認知症カフェ1回開催、37人参加） ・認知症やさしい手ネットにっしん： 登録者：74人、協力支援者：462人 ・介護者のつどい：10回、延べ30人参加 ・介護者リフレッシュ事業：2回、延べ26人参加 ・徘徊高齢者識別シール及びキーホルダー作成 ・地域づくり検討会議（認知症）：1地区、計3回開催 ★徘徊高齢者探索システム事業のあり方の検討 地域での初動体制を含め、効果的な実働体制の構築 ★専門的支援のしくみづくりの検討 認知症初期集中支援チーム設置、認知症地域支援推進員配置等 ★支えあいのしくみづくりの検討 地域における認知症高齢者の見守り・徘徊搜索支援体制の構築に向けた検討	①総合相談窓口の充実 ・個別地域ケア会議の開催：9回 ・モデル地区（2地区）における相談活動（社協） ★「ものわすれ相談」の周知及び脳の健康チェックの活用を検討 ②認知症ケアパスの作成と活用 ★認知症ケアパスの充実と活用を検討 - 状態に応じた具体的な支援・相談機関等の整理・掲載 ③認知症の理解と知識の普及 ・認知症サポーター養成講座：15回、延べ282人参加 ・学校開催：2回（中学校）、延べ63人参加 ★地域における認知症に関する講演会等を検討

★重度の要介護者を在宅で介護する家族支援のあり方の検討
在宅サービスの充実と家族介護慰労事業（現金給付）の廃止★専門的支援のしくみづくりの検討
認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員の配置等★支えあいのしくみづくりの検討
地域における認知症高齢者の見守り・徘徊搜索支援体制の構築に向けた検討

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
2 認知症の方を支える体制整備				
(2) 地域ケア会議の機能強化				
		①地域づくり、資源開発機能の充実 ・日進市地域支えあい体制づくり検討委員会 （地域ケア推進会議）によるネットワークの構築 ・地域の住民と関係者による、支えあいのまちづくりの推進	①地域づくり、資源開発機能の充実 ・地域包括ケア検討会議：3回、個別地域ケア会議の開催：12回 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ★個別地域ケア会議の充実 居宅介護支援事業者発意による開催手法の検討等	①地域づくり、資源開発機能の充実 ・地域包括ケア検討会議：3回、個別地域ケア会議の開催：9回 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い 円卓会議）を開催：3回、延べ186人参加
(3) 在宅介護サービスの充実				
		①認知症対応型通所介護事業の充実 ・認知症対応型通所介護事業所の増設 ②24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの提供 ・24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービスの参入推進 ③介護職員による医療行為の実施のための環境整備 ・介護職員による日常「医療的ケア」の円滑実施の支援 ④地域資源を活用した多様なサービス創設 ・様々な運営主体による多様な生活支援サービスの推進	①認知症対応型通所介護事業の充実 ・平成28年6月16日～平成29年1月31日 随時募集 1事業所応募あり、選定委員会において選定 ②24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの提供 ・平成28年8月1日指定サービス開始 ③介護職員による医療行為の実施のための環境整備 ・愛知県たんの吸引等にかかる指導者養成伝達講習の周知 （平成28年8月3日、4日） ・市内登録喀痰吸引等事業者 7事業者 ④地域資源を活用した多様なサービス創設 生活支援体制整備事業 ・生活支援コーディネーター配置 第1層(平成28年7月1日～)：1箇所・計2名配置 第2層(平成28年10月1日～)：3箇所・計3名配置 ・協議体設置 第1層(日進市生活支援体制整備に関する検討部会)：1回開催 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ・にっしん幸せまちづくりプラン行政区地域座談会 19行政区開催、延べ236名参加 ★総合事業・生活支援体制整備事業に係る多様なサービスの充実検討	①認知症対応型通所介護事業の充実 ・平成27年12月21日～平成28年1月29日 公募実施 平成28年 2月19日～平成28年3月18日 随時募集 ②24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの提供 ・平成27年12月21日～平成28年1月29日 公募実施 1事業所の応募あり ★平成28年度中に事業所指定 ③介護職員による医療行為の実施のための環境整備 ・愛知県たんの吸引等にかかる指導者養成伝達講習の周知 ・市内登録喀痰吸引等事業者 3事業者 ④地域資源を活用した多様なサービス創設 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い 円卓会議）を開催：3回、延べ185人参加
(4) 医療と介護の連携				
		①医療機関との連携強化 ・連携強化のための協議会の立ち上げ ②医療、介護一貫した支援体制の構築 ・地域生活の効果的支援に向けた情報共有 ・ICT（情報共有ツール）の活用検討	①医療機関との連携強化 ・地域包括ケア検討会議（東名古屋医師会主催）：5回参加 ②医療、介護一貫した支援体制の構築 ・日進市在宅医療・介護連携に関する検討部会：3回開催 ・電子@連絡帳導入（平成28年4月1日～）：84団体登録 ★在宅介護・医療連携推進事業の充実検討	①医療機関との連携強化 ・地域包括ケア検討会議（東名古屋医師会主催）に参加：5回 ②医療、介護一貫した支援体制の構築 ・在宅医療・介護連携システム導入検討会議：3回 ★検討部会を設置し、在宅医療・介護連携推進事業の具体的な取組 方法等について検討

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
2 認知症の方を支える体制整備				
	(5) 権利擁護の推進			
		①認知症高齢者の権利擁護 ・ 地域包括支援センターとの日常的な連携 ・ 尾張東部成年後見センターの積極活用	①認知症高齢者の権利擁護 ・ 市民後見人養成研修の開催、市民後見人バンクの運用を開始 ・ 後見人の市長申し立て 5人	①認知症高齢者の権利擁護 ・ 市民後見人養成研修の開催 ・ 後見人の市長申し立て 3人

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本目標	施策の方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
3 地域で支え合い、いつまでも暮らせるまち				
(1) 在宅生活の支援				
		①多様な社会資源の活用 ・様々な社会資源との協働 ②多様な担い手の養成、確保 ・認知症サポーター養成などによる人材育成 ③生活支援サービスの実施 ・緊急通報システム、訪問理美容、エコサポート等生活支援サービスの充実 ・移動が困難な高齢者の外出支援	①多様な社会資源の活用 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ②多様な担い手の養成、確保 ・認知症サポーター養成講座：15回、延べ458人参加 ③生活支援サービスの実施 ・生活支援コーディネーター配置 - 第1層(平成28年7月1日～)：1箇所・計2名配置 - 第2層(平成28年10月1日～)：3箇所・計3名配置 ・協議体設置 - 第1層(日進市生活支援体制整備に関する検討部会)：1回開催 ・利用者数：緊急通報システム 134人、訪問理美容 41人、エコサポート 97人、配食 121人、寝具洗濯乾燥 4人、軽度生活援助 2人 ★総合事業・生活支援体制整備事業に係る多様なサービスの充実検討	①多様な社会資源の活用 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い円卓会議）を開催：3回、延べ185人参加 ②多様な担い手の養成、確保 ・認知症サポーター養成講座：15回、延べ282人参加 ③生活支援サービスの実施 ・利用者数：緊急通報システム 144人、訪問理美容 45人、エコサポート 94人、配食 119人、寝具洗濯乾燥 5人、軽度生活援助 2人 ・福祉有償運送事業実施団体公募：2団体
(2) 地域支え合い活動の充実				
		①地域の人材の確保 ・多様な担い手の確保に向けたきっかけづくり ②多様な担い手の養成、確保 ・それぞれのニーズにあった講座等の実施や情報の提供 ③つどいの場を核とした支え合い活動 ・地域活動の拠点としての、つどいの場や公共施設などの活用 ・生活支援コーディネーターやCSWによる地域活動の支援	①地域の人材の確保 ・にっしん幸せまちづくりプラン行政区地域座談会 19行政区開催、延べ236名参加 ・場リスタ養成講座：1教室(3回連続講座)、延べ68人参加 ・生活支援コーディネーター配置 - 第1層(平成28年7月1日～)：1箇所・計2名配置 - 第2層(平成28年10月1日～)：3箇所・計3名配置 ②多様な担い手の養成、確保 ③つどいの場を核とした支え合い活動 ・にっしん幸せまちづくりプラン行政区地域座談会 19行政区開催、延べ236名参加 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ・生活支援コーディネーター配置 - 第1層(平成28年7月1日～)：1箇所・計2名配置 - 第2層(平成28年10月1日～)：3箇所・計3名配置 ・協議体設置 - 第1層(日進市生活支援体制整備に関する検討部会)：1回開催 ★住民主体サービス及び地域内連携の充実支援 ★「つどいの場」の拡充に向けた支援の継続	①地域の人材の確保 ・地域福祉計画説明会の開催：18区 ・また、つどいの場を含めた地域活動に関心がある方対象に、「場リスタ養成講座」を開催した。連続5回講座、延べ129人参加 ②多様な担い手の養成、確保 ・地域福祉計画説明会の開催：18区 ③つどいの場を核とした支え合い活動 ・地域福祉計画説明会等の開催：18区 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い円卓会議）を開催：3回、延べ185人参加 ・平成28年度の生活支援コーディネーター配置・活動内容等を検討

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
3 地域で支え合い、いつまでも暮らせるまち				
(3) 在宅生活を支える地域の基盤づくり				
		①地域資源の確保 ・地域資源を整理し、活用を検討 ②生活支援コーディネーターの育成 ・地域での生活支援にむけた、生活支援コーディネーターの配置 ・協議体の設置による情報共有・連携強化 ③地域の連携づくり ・つどいの場の自主的な運営の支援 ・認知症サポーター養成などによる地域での理解促進	①地域資源の確保 ②生活支援コーディネーターの育成 ・生活支援コーディネーター配置 - 第1層(平成28年7月1日～)：1箇所・計2名配置 - 第2層(平成28年10月1日～)：3箇所・計3名配置 ・協議体設置 - 第1層(日進市生活支援体制整備に関する検討部会)：1回開催 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ③地域の連携づくり ・つどいの場補助金 - 地域の市民が気軽に通えて、高齢者の健康づくりや交流場所となる「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付：15団体、522,600円 ・場リスタ養成講座：1教室(3回連続講座)、延べ68人参加 ・認知症サポーター養成講座：15回、延べ458人参加 ★住民主体サービス構築及び地域内連携の支援に向けた充実検討★「つどいの場」の拡充に向けた支援の充実検討	①地域資源の確保 ★地域支援コーディネーターの業務として検討 ②生活支援コーディネーターの育成 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い円卓会議）を開催：3回、延べ186人参加 ★生活支援コーディネーターを配置及び協議体の設置を検討 ③地域の連携づくり ・地域の市民が気軽に通えて、高齢者の健康づくりや交流場所となる「つどいの場」を支援するため、新規立ち上げや運営のための補助金を交付した。 - また、つどいの場を含めた地域活動に関心がある方対象に、「場リスタ養成講座」を開催：連続5回講座のうち、3回までの参加者延べ85人 ・認知症サポーター養成講座：15回、282人参加 ★「つどいの場」の拡充に向けた支援の継続
(4) 社会参加を意識した自主活動の推進				
		①老人クラブ等の活動支援 ・老人クラブへの継続支援 ②担い手としての高齢者の社会参加 ・にっしんおたっしやボランティアなどによる、高齢者の社会参加の推進	①老人クラブ等の活動支援 ・老人クラブ補助金：市老人クラブ連合会 - 単位老人クラブ：40クラブ ②担い手としての高齢者の社会参加 ・おたっしやボランティア：登録者：96人、受入施設：26施設 ★高齢者の社会参加活動促進に向けた支援の充実検討	①老人クラブ等の活動支援 ・老人クラブ補助金：市老人クラブ連合会 - 単位老人クラブ：39クラブ ②担い手としての高齢者の社会参加 ・おたっしやボランティア：登録者：86人、受入施設：24施設

第6期 にっしん高齢者ゆめプラン 実施状況

＜基本理念＞共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの構築）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み	28年度状況など（★29年度の主な取り組み）	27年度状況など（★28年度の取り組み）
4 介護保険制度の円滑な運営				
	制度を円滑に運営するための仕組み			
		①新しい総合事業を含めた地域支援事業への移行 ・段階的に「新しい総合事業」を実施 ・地域での生活支援にむけた、生活支援コーディネーターの配置（再掲） ・協議体の設置による情報共有・連携強化 ②介護保険サービスの適正な利用と質の向上 ・介護給付適正化システムからの情報活用 ・利用者への給付費通知の送付 ・指定地域密着型サービス事業者への適切な指導 ・「地域ケア会議」の実施、介護人材の育成 ・介護相談員の派遣によるサービスの質の向上	①新しい総合事業を含めた地域支援事業への移行 ・新しい総合事業移行（平成28年10月1日～） 基準緩和型サービス（訪問型A、通所型A）開始 - 短期集中予防サービス（通所型C）開始 - 介護予防ケアマネジメント開始 等 ・各種周知事業 広報にっしん・HP等 - 介護保険事業所説明会：3回開催 - 民生委員・民生児童委員地区ケア会議：計3地区開催 - 地域出前講座：1地区開催 等 ・生活支援コーディネーター配置 第1層（平成28年7月1日～）：1箇所・計2名配置 - 第2層（平成28年10月1日～）：3箇所・計3名配置 ・協議体設置 第1層（日進市生活支援体制整備に関する検討部会）：1回開催 ・にっしん地域支え合い円卓会議：2回開催、延べ138名参加 ②介護保険サービスの適正な利用と質の向上 ・介護給付適正化システムを活用したヒアリングシート作成及び送付 3回（92件） ・給付費通知の送付 2回（4,247人分） ・指定地域密着型サービス事業所への実地指導：2事業所 ・個別地域ケア会議の開催：12回 ・介護相談員の派遣事業所数 15事業者（32事業所） ★総合事業・生活支援体制整備事業の充実検討	①新しい総合事業を含めた地域支援事業への移行 ・多職種による生活支援体制の勉強会（にっしん地域支え合い円卓会議）を開催：3回、延べ186人参加 ★新しい総合事業への移行に向けた準備（平成28年10月から） ★生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置を検討 ②介護保険サービスの適正な利用と質の向上 ・介護給付適正化システムを活用したヒアリングシート作成及び送付 3回（66件） ・給付費通知送付 2回（4,153人分） ・指定地域密着型サービス事業所への実地指導：1事業所 ・個別地域ケア会議の開催：9回 ・介護相談員の派遣事業所数 15事業者（32事業所）
	介護サービス量の見込み			
		各種サービスの見込量		
	地域支援事業			
		仕組みの見直し		